

奥教魅第796号
令和3年2月25日

町内小学校、幼稚園児童の
保護者の皆様

奥出雲町教育委員会
教育長 松田 武彦

小学校再編校区别協議会での説明資料の配布について

平素は、奥出雲町教育行政に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、小学校再編については長期間にわたり校区别協議を中断しておりましたが、昨年11月から再開に向け各校区の代表の方と準備をすすめ、2月末から協議を再開することとなりました。

つきましては、今回校区别協議会にて説明予定の町の提案内容について別紙の通りとなっておりますのでお知らせします。

記

配布資料

- ・町からの提案内容
- ・確認事項、Q&A 一覧
- ・児童推計、登下校バス案

* 2～3月開催の校区别協議会にて町から上記資料の説明を行い、その後、校区内で検討いただくことを想定しています。

【問い合わせ先】

奥出雲町教育委員会

教育魅力課 学校再編 G

(担当：長谷川、藤原雄)

TEL 52-2672

有線 20-4325

小学校再編にかかる町からの提案

1 通学手段

【原則】

- ・令和2年度の奥出雲交通の路線を基本とする。ダイヤを大幅に変更しない。
- ・徒歩通学圏を現三成小、横田小校区または新学校を中心に3km以内とする。
- ・上記に該当しない家庭はバス通学とする。
- ・バス通学家庭について、奥出雲交通バス停から家庭までの距離が3km以内の場合、児童生徒をバス停へ運ぶための支援等を行わない。
- ・バス停から3km以上の家庭については、自家用車登校への補助金支給やタクシー、自治会輸送などを含めたバス停輸送支援を検討する。

* 補足

- ・高尾小校区については、高尾小を拠点とした新規路線またはジャンボタクシー輸送などの対応を考える。(現バス路線が不十分であるため)

2 放課後児童クラブ

【原則】

- ・再編後も、現在の場所で運営する。

【運営場所】

- 幼稚園＝布勢、亀嵩、三沢、横田、八川、馬木
- 現小学校＝鳥上
- 別施設＝三成、阿井

- ・住所地の児童クラブへの入所ルールを新たに定め、再編後小学校から各地区児童クラブまでのバス路線を確保する。
- ・高尾小校区児童は、三成へ入所することとする。

3 現小学校施設、公民館施設

【原則】

- ・地域づくり推進課が進める「地域づくりの拠点化」と一体となって、町全体で進めていく。
(上記はあくまで原則であり、地区の状況により異なる可能性があります)

* 現在の想定

- ・再編後の現学校施設は、地区の拠点施設とする。(耐震基準を満たさないものは除く)
- ・拠点施設に公民館機能を移転する。
- ・老朽化した現公民館施設は、解体する。
- ・中期財政計画にある現公民館改築事業は、実施しない。

↓

- * 公共施設管理計画(個別計画)に反映

4 仁多地域統合小学校【仮称】

【原則】

- ・検討した複数案を全て示した上で、町として選定した候補地を1つ示す。
- ・令和3年3月中の候補地公表を目指す。→ **4月以降にずれ込む見込み。**

【確認事項】

令和3年2月作成

確認内容	町、教育委員会としての回答
小学校再編は、町としての決定事項なのか。	町としては、各小学校区での同意を得ながら再編に向け進む方向性は決定しています。
再編するタイミングはいつか。	令和7年4月に仁多地域1校、横田地域1校に再編することを目指しています。
協議の期間はどれくらいあるのか。	令和4年3月を意向とりまとめ期限とさせていただいております。 これは、現在複式学級で学ぶ子どもたちの進度を単式学級に合わせるための期間が必要であることと、仁多地域の再編後小学校の建設期間を考慮したものです。
一つの校区でも反対であれば再編しないのか。	再編に合意いただいた校区で、上記時期に再編を行います。
再編に反対した校区はどうなるのか。	子どもたちが学ぶ環境として、一定規模以上の児童数が望ましいと考えておりますので、町としては引き続き再編を提案してまいります。 ただし、令和8年、令和9年度での再編は学校運営上困難であるため、令和10年以降での再編協議再開となることが予想されます。
統合後の校舎は、どこになるのか。	横田地域は、現横田小学校を前提に検討しています。 仁多地域は、現三成小学校校舎の耐震改修が未完のため、移転場所の検討から進めています。 通学距離、時間から、基本的に三成地区市街地内及び周辺を候補としています。
現横田小学校が横田地区の統合小学校となる予定とのことだが、改修は必要ないのか。	経年による劣化や修繕が必要な箇所があるため、再編までの期間に必要な対応をする予定です。 耐震性等、児童の安全面で重大な支障はないと認識しておりますので、大規模な改修は予定しておりません。
校区としての意向を取りまとめる方法は決まっているか。	定めた手順はありません。協議会としての判断をそのまま校区の意向としていただいと認識しています。 ただ、協議会の判断を校区住民へ答申し、住民全体で判断することを妨げるものではありません。
協議会運営にかかる費用はどうすればよいか。	消耗品費、会場使用料については各校区へ補助を行います。

【Q&A】

いただいたご意見	町、教育委員会の考え
<p>各小学校は少人数でも特色ある教育を行っている。再編しなくても各小学校で創造性のある子どもを育てられるのではないか。</p>	<p>地域の方々のご協力により、町内の小学校では少人数学級ならではの教育も行えております。少人数学級での教育は優れた面があることも確かです。</p> <p>一方で、現在までの出生数から、今後の児童数は減少を続けることも明らかです。</p> <p>それに伴う保護者の減少、地域の高齢化も続くことから、教育環境の維持も大きな課題です。</p> <p>子どもが育つ、学ぶ環境として、仁多、横田それぞれ1校という規模が望ましいと考えております。</p>
<p>新しい校舎の学校に向けて再編すればいいのではないか。</p>	<p>仁多地域では亀嵩、横田地域では八川が近年改築した校舎となりますが、教室数や面積が再編後の児童数を前提としたものではないため、増築が必要となります。</p> <p>また、通学距離、時間を考えると三成地区、横田地区への再編が現実的と考えています。</p>
<p>近距離以外はバス通学になると思うが、家の近くまで来てもらえるのか。</p>	<p>現行の奥出雲交通のバス路線が基本となります。</p> <p>部分的に地域輸送の協力や町内タクシー会社との連携、協力も視野に入れていますが、奥出雲交通の現状路線維持を最優先に検討しています。</p>
<p>バスは小中学生が一緒に乗ることになるのか。</p>	<p>乗車人数次第で一緒に乗ることも想定しています。</p> <p>現状からの車両数及び運転手の人数の増強は難しいと考えています。</p>
<p>放課後児童クラブに入らない(入れない)子どもが一人で下校することが心配である。</p>	<p>不審者や野生動物の恐れもあることから、地域と協力した見守り活動を検討してまいります。</p>
<p>子どもが主役の地域行事がある。子どもが参加できるよう配慮してほしい。</p>	<p>各地区同一日程で行われる行事（仁多地区の運動会等）であれば、休校日にすることにより全校参加が可能です。</p> <p>日程が異なる行事、祭り（神事）や体験活動は、学校活動としての参加は難しいため、休日や放課後の自主的な参加が基本となると考えております。</p>
<p>現在、各学校で行っている農業体験等の活動は継続できないのか。</p>	<p>各校区の現在行われている活動を全て継続することはできません。</p> <p>各学年毎に各地区に分かれて活動を続けるなど、新しいやり方で地域とつながっていく方法を協議会で検討したいと考えております。</p>
<p>再編後の学校に通う期間は1年しかない場合もある。制服や備品を揃えなおすのはもったいない。</p>	<p>再編後の制服（体操服）や備品のルールについては、令和4年度以降の校區別協議会や代表者会で協議する予定です。</p> <p>現状、保護者負担はできるだけ減らしたいと考えています。</p>
<p>再編の是非から再編後のルール検討に至るまで、非常に長い期間を要する。協議会メンバーとして継続参加するのは難しい。</p>	<p>再編まで長い期間となりますので、同じ方に継続して参加いただくのは難しいと考えます。（参加いただける方を拒むものではありません）</p> <p>年度毎、隔年毎に入れ替わられても問題ありませんが、一度に大半の参加者が入れ替わる形は避けていただきたいと思っております。</p>